

## 5 夜更けの逢瀬 夜明けの別れ

### 夜更けの逢瀬

#### I

鉛色の海 暗闇に延びる浜の影  
大きく低く浮かぶ山吹色の弦<sup>ゆみはりづき</sup> 月  
まどろみを邪魔された小波が  
荒々しく輪を描く  
私は岩蔭<sup>へさき</sup>に舳先を押し進め  
ぬかるむ砂浜で舟を止める

5

#### II

生暖かい潮の香り漂う浜辺を一マイル  
三つの草原を横切るとやがて農家が見えてくる  
窓ガラスを一度だけ叩く 素早くマッチを擦る音  
青白いマッチの炎  
喜びと不安とで  
互いの心臓の鼓動よりも小さな声

10

### 夜明けの別れ

岬をまわると不意に海が現れた  
太陽が山の縁<sup>へり</sup>から姿を現した  
あの人にとっては黄金の一路  
わたしにとっては男の勝手

(福山真季・原由子寄稿)